

2025 年 9 月 29 日

JR 九州電気システム株式会社

携帯電話事業者向けインフラシェアリングサービスを 「サニーサイドモール小倉」で提供開始

JR 九州電気システム株式会社（本社：福岡市博多区、代表取締役社長：大石 和弘、以下「JR 九州電気システム」）は、携帯電話事業者向けのインフラシェアリングサービスを JR 九州グループとして初めて提供開始しました。

2025 年 9 月 26 日より、「サニーサイドモール小倉：（所在地：北九州市小倉南区、運営管理：JR 九州ビルマネジメント株式会社）」にて本サービスの運用を開始しております。

サービス概要

本サービスでは、JR 九州電気システムが構築した共用設備（中継装置、光伝送路、同軸伝送路、アンテナ）を、携帯電話事業者が共同で利用することが可能です。

本物件では、株式会社 NTT ドコモ（九州支社：福岡市中央区、執行役員九州支社長：和田 あずさ）が既に設備を利用しており、今後は他の携帯電話事業者の無線機も接続可能です。これにより、各社の電波が共用設備を通じて発射され、効率的な通信環境の構築が可能となります。



インフラシェアリングサービスによる設備集約イメージ

インフラシェアリングのメリット

設備の効率化：携帯電話事業者はアンテナ等の設置が不要になり、初期投資や設置工数を削減。

環境負荷軽減：設備共用による電力消費量の削減から、環境負荷の軽減に貢献。

通信品質の向上：通信容量の増加に対応した 4G シェアリング機器による、高品質な通信環境の実現。

今後の展開

JR 九州電気システムでは、今後も商業施設・駅構内・オフィスビルなどを対象に、インフラシェアリングサービスの展開を進めてまいります。地域の通信インフラの高度化と、持続可能な設備運用の実現に向けて、引き続き取り組んでまいります。